

問1 モンシロチョウが、花のみつを食べようになるのはどの時期ですか。

1. 成虫^{せいちゅう}のとき 2. たまごのとき 3. さなぎのとき 4. 幼虫^{ようちゅう}のとき

問2 草むらや木の近くにこん虫が多くいるのは、なぜですか。

1. 食べ物はなくて、およぐ練習ができるからです。 2. 食べ物がなくて、敵^{てき}からすぐに見つかるからです。 3. 食べ物があつたり、敵^{てき}から身をかくしたりできるからです。 4. 食べ物があつて、いつでも人間につかまえてもらえるからです。

問3 チョウのあしがついている部分と、あしの本数の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. はらに6本のあしがついている 2. むねに8本のあしがついている 3. 頭に4本のあしがついている 4. むねに6本のあしがついている

問4 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

1. 日当たりのよい花の上 2. かわいた砂^{すな}の上 3. 石の下などの日かげ 4. 高い木のとっぺん

問5 チョウなどのよう虫は、どのようにして体を大きくしていきますか。

1. 土の中にもぐる。 2. 水をたくさん飲む。 3. ずっとねむり続ける。 4. 皮をぬぐ。

問6 白い羽^{もよう}に模様があり、花のみつ^{みつ}を吸う虫はどれですか。

1. トノサマバッタ 2. オニヤンマ 3. モンシロチョウ 4. アブラゼミ

問7 こん虫の体の部分のうち、目やしよっ角がついていて、身の回りのようすを感じ取ることができる部分はどこですか。

1. 腹^{はら}（はら） 2. 足（あし） 3. 胸^{むね}（むね） 4. 頭（あたま）

問8 バッタやトンボのように、さなぎにならないこん虫は、よう虫のつぎにどのようなすがたになりますか。

1. さなぎ 2. はっぱ 3. せい虫 4. たまご

問9 子葉（しよう）の形には、どのようなとくちょうがありますか。

1. 次にでてくる葉とはちがう形をしている。 2. 次にでてくる葉とまったく同じ形をしている。 3. 花びらとまったく同じ形をしている。 4. 根（ね）とまったく同じ形をしている。

問10 かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことを何といいますか。

1. ずこう 2. しゃしん 3. スケッチ 4. らくがき

問11 アゲハが、ミカンやサンショウの葉などにうみつけるものは何ですか。

1. アゲハのたまご 2. カブトムシのたまご 3. カマキリのたまご 4. モンシロチョウのたまご

問12 体が「頭」「むね」「はら」の3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物のなかまを何といいますか。

1. 鳥（とり） 2. けもの 3. 魚（さかな） 4. こん虫

問13 ホウセンカ、マリーゴールド、ヒマワリなどの植物の育ち方について、正しいものはどれですか。

1. 実^{くき}ができたあとに、茎や葉が育ち始めます。 2. 植物の種^{しゅるい}類によって、芽^めが出る前に花が咲くなど、育つ順序^{じゅんじょ}はバラバラです。 3. たねをまく前に、まず花^さが咲いて実^{くき}ができます。 4. どの植物も、たねをまいてから実^{くき}ができるまで、同じ順序^{じゅんじょ}で育ちます。

問14 虫めがねを使って、手に持てる小さな草花などをかんさつするとき、よく見えるようにするためには、何を動かしますか。

1. 地面 2. 見ているもの 3. 自分の頭 4. 太陽

問15 チョウの育ち方で、よう虫の次になり、せい虫になる前の時期を何といいますか。

1. たまご 2. さなぎ 3. せい虫 4. よう虫